



あなたと三笠をむすぶホット情報 Mitsukoshi NEWS 三笠ニュース

PR旬報／年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3
電話03(3292)1411 大代表 ファックス03(3233)0530



新春のご挨拶

代表取締役社長
京谷 弘也

新年明けましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年は新潟県中越地震をはじめ相次ぐ台風上陸など、自然災害の多い年でした。被害に遭われた皆様には改めてお見舞い申し上げますとともに一日も早く復興されますよう心からお祈り申し上げます。

最近は公共事業というと無駄遣いという目で見られておりますが、昔から治山・治水は国家の基本といわれております。これを機に災害に強い社会基盤整備にしっかりと予算を使って頂きたいと思います。

さて、わが国経済は輸出関連企業やIT産業の好調に支えられ、順調に回復軌道を辿っています。円高や原油価格の上昇、あるいは原材料価格の上昇など、いくつかの不安材料はあるものの民間設備投資、個人消費とも堅調なことから本年も順調に回復していくものと期待しております。

一方、建設関連投資につきましても、大都市においては盛んに再開発が行われており、また、製造業の国内回帰も話題になりつつあります。削減の続く

公共投資に取って代わるわけにはいかないでしょうが、民間工事で少しでも不足分を補えれば我々の業界も光明が見えてくるのではないかでしょうか。

そのような中、当社と致しましては引き続き「顧客満足度の向上」に積極的に取り組んでまいります。製品面では従来からの騒音、排ガスなどの環境対策に加え、振動機械メーカーの永年のテーマであるオペレーターへの防振対策も重点課題として研究を進めており、今年はその成果を生かした製品を発表できる予定です。また、昨年の新製品として発売致しましたアース不要の二重絶縁モーターを採用した軽便バイブレーターや、防腐・防水性を大幅に高めた高周波インバーターのシリーズを充実させてまいります。

また、サービス面におきましてはホームページのバーツリストをリニューアルし、昨年の12月からはオンラインでご注文いただけるように致しました。ご登録頂きましたお客様は部品の注文だけでなく、見積にもご利用頂けることから積極的なご利用を期待しております。まだ完璧なシステムとは言えませんが、皆様のご意見をお聞きしながら使いやすいシステムにして行きたいと考えております。

海外市場におきましては、円高の行方が気にかかるところではありますが、今後の有望市場として世界中の注目を集めていますBRICs諸国（ブラジル、ロシア、インド、中国）で三笠ブランドの浸透に努めて参ります。

最後になりましたが、本年も変わらぬ御愛顧をお願い申し上げ新年のご挨拶と致します。



月日は百代の過客…。ひとは誰もかもひとしく時の移ろいと共に生きている。振り向くなといわれても振り向かざるを得ない。詩や音楽や映画に熱をあげた二十代、三笠産業のモーレツ働き蜂になった三十代。そして時が流れ、気がつくと七十を超えていた。正月生まれだから新年早々喜寿という年齢になる。先日斎藤憲の「ジャズで踊ってリキュルで更けて」と岩波本らしからぬ標題の新刊を面白く読んだ。西条八十物語である。

明治25年の1月15日生まれ。関東大震災の避難民として上野の山で聞いたハーモニカから、大衆や児童のために歌を書こうと思った。フランス留学から帰国後、雑誌社の「正月にふさわしい童謡を…」の依頼で「鞠と殿さま」を作った。もちろん作曲は中山晋平。ジャズで踊っての「東京行進曲」も同じ頃だ。いろいろ流行歌、軍歌等を多作し、高踏派詩人仲間から西条八十は金銭奴隸になり下がったと非難もされたが聞き流している。東京空襲を恐れ茨城県下館へ疎開した日が52歳の正月誕生日。昭和25年はコロムビアから正月向けの作詞依頼をうけて美空ひばりに、宙に浮かれて逆立ちすれば…の「越後獅子の唄」を作っている。ここは、お正月の西条八十物語をいくつか拾い上げてみたわけで、つまり正月生まれの同類として親近を感じたからである。

象徴派詩人、大衆作詞家、伝文学者と幅広く、時の移ろいを過ごした詩人へ乾杯！なお西条八十物語は新潮社から吉川潮の小説も出版されており、大変な読みごたえがあった。謹賀新年。どうぞ本年も、三笠産業にご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

リフォーム工事の強い味方 MS-60型フロアスクレーパ新発売



ここ数年、オフィスビルなどのリフォーム、リニューアル、コンバージョンといった事が注目されています。補修、改修といった事にとどまらず、ビル全体の用途変更を目的としたものもあり、今後このような工事の需要が大きく増えてくると予測されています。一般的に内装に重点を置いた工事が多いですが、そのなかでPタイルやクッションフロアといった床材を剥がす事も重要な仕事になっています。

こういった床材を剥がす場合には、「スクレーパー」あるいは「床剥がし機」と呼ばれる大小様々な機械や工具（ケレン棒）が使用されています。弊社にも従来からE D D Y-1（多目的スクレーパー）というハンディータイプのモデルがあります。軽量、小型にもかかわらず作業能力があり、また作業音が低い事など、多くの方か

ら評価を頂いております。しかし一方で「もっと効率よく床を剥がしたい。」「車輪が欲しい。」「長時間使っても疲れないように…。」といった、ご要望も多く寄せられていました。このようなお客様からの声をもとに、さらに「作業する方に優しく、操作しやすく、

Pタイル、クッションフロアなど、様々な床材を効率よく剥がせる」という事を開発のコンセプトとして、完成したのが、この新製品「MS-60型」です。

本機の主な特長は次のとおりです。
刃先角度調整ハンドル付

刃先角度が手元のハンドルで調整できますので床材の種類や接着状況、また刃の磨耗状況などによって異なる最適な刃先角度に素早く対応できます。この為、機体を持ち上げずに作業する事が可能になりました。

安定性のよい車輪付で楽々作業

左右の車輪幅をブレード幅以下に抑えていますので、床材を剥がした跡に、車輪がすっぽりと納まります。これによって、刃先の接地性が高まり安定した剥がし作業が可能になります。
独自のブレードの動きで衝撃、振動を軽減

ブレードの動きは、円運動で、接地性を高めています。衝撃で剥がすのではなく、床と床材の間の接着剤を切って行く感じになります。また刃先が接地した状態になりますので、刃と床に発生する衝撃、振動といったものが抑えられます。

MS-60仕様表

本体	長 (mm)	710 (950)	(ハンドル含)
	幅 (mm)	270 (520)	タ
	高 (mm)	700 (800)	タ
	質量 (kg)	58.5	
	剥がし幅 (mm)	270	
モーター	電圧 (V)	100	
	出力 (W)	550	
	電流 (A)	8.2 / 7.8	定格 (50 / 60Hz)
	回転数 (min⁻¹)	2,830 / 3,420	無負荷時 (50 / 60Hz)



ハンドルに防振ゴムを採用

各部の剛性を高め、全体の振動の発生をおさえるとともに、ハンドル根元に防振ゴムを採用する事で手許振動を軽減させました。

優れた前方視界

刃先が目視できるデザインとカバーの前部を傾斜させる事により、壁際の操作が安心して、確実に行なえます。

一点吊りフックを装備

積みおろしに便利な一点吊りフックを標準装備しています。

ブレーカーを標準装備

モーターの保護機能と安全の為にブレーカー(漏電検出機能付)を標準装備しました。

このように、優しさと使いやすさを追求したフロアスクレーバー「MS-60」を是非ご愛用頂きますよう、よろしくお願い致します。

しておこう。何故か小職はお酒が飲める人間というイメージがあるようなので尚更一気飲みの回数が増えた。

一気飲みはもちろん一回で終わるはずが無い。日本から来たお客様ということで歓迎を受けているので、一人一人と乾杯をする機会が出来る。一気飲みをした回数が判らなくなるほど乾杯を繰り返す…。そこで迎える朝…。

さて、本題に入ろう。BAUMA CHINA 2004。今回が二回目の開催となる。10万平米の敷地に世界中から100カ国を超える5万人の来場者、742の出展社数とアジア最大の建機展にふさわしい様相であった。今年のミュンヘンの

本場BAUMAにも小職は行く機会があったのだが、さすがに本場ほどではないがかなり大きい。特筆すべきは今回一番大きく展示していたのも除工集団という中国の大型建機メーカーだったことである。中国という国がこれから如何に発展を続けていくかという象徴のようにも思えた。来場者も各国から多数来ていたがやはり日本人が多い。それだけ皆中国という市場に対しても注目している表れではないだろうか。担当者として喜ばしい限りである。さて今日も隣国の人達と親交を深める為に…。

海外営業部 水上記

第47回 笠友会総会 上海で開催 ——バーマ展の視察見学と観光三泊四日——



2004年11月14日(日)～17日(水)
上海にて第47回笠友会総会が開催されました。この4日間の旅行の主たる目的は総会と上海で開催される建機展の視察にありました。

11月14日(日)は上海着午後8時。そのまま宿泊先のオーディン・ガーデン・ホテル・シャンハイ(花園飯店)にチェックイン。

翌15日(月)は総会の前に、蘇州観光に出かけ、名所古跡として知られる寒山寺、虎丘斜塔、浜松園を巡りました。上海から蘇州はちょうど東京の三笠本社から館林工場と同じ距離になります。

京谷社長は展示会の準備、営業スタッフとの打合せ等で蘇州行きは参加できませんでしたが、総会会場の「多功能厅」で待っていました。

総会はまず笠友会の鈴木会長(スルガ電機社長)のご挨拶からはじまり、昨年SARSの影響でやむなく中止になりました北京の建設機械展示会視察に代わって、今回の上海バーマ展視察が実現できたことを喜んでおりました。

次に京谷社長の挨拶があり、まず三笠産業の近況として国内・海外の状況をきめ細かく説明し、その中で今最も懸念しているのは原材料高騰の問題、この問題は三笠と会員各社との相互理解が最も重要で、ベストな結論を導く為、この困難な状況を共に乗り切って行くことが必要と話しました。

そして中国の話題で、ちょうど2年前の11月に上海において三笠机械(上海)有限公司という三笠資本100%の販売会社を設立。昨年の北京での建機展、そして今年の上海の建機展に出展し、販売ネットワークの構築とブランドの定着を図っております。笠友会会員の皆様方には「BAUMA」建機展の視察で、中国の建設事情をご理解頂き、共に何か新しい事にチャレンジできれば幸いですと結びました。

懇親会の夕食(王宝和大酒店)は、三笠机械(上海)有限公司の于洪林総經理と三笠産業から出向中の菊池副総經理が参加して、中国及び上海の

状況、情報交換をし、上海蟹を食べながら和やかに楽しく進みました。

3日目の16日(火)は「上海浦東国際展覧中心」の会場で開催される「BAUMA」建機展を視察しました。三笠製品の展示ブースでは京谷社長、于総經理はじめ三笠産業(本社)、三笠机械(上海)の営業の皆さんが製品のデモストレーションや、お客様の応対で機敏に行動しておりました。日本各地からも建機関係のお客様が大勢お見えになり、この上海バーマ建機展に対する関心の高さが伺えます。

今年4月にドイツのミュンヘンで開催されたバーマ建機展(世界最大)に来られた海外のお客様も多数お出でになりました。中国が世界一のマーケットになって行く由縁がわかります。三笠ブースはドイツの競合メーカー(マッカーサー社)と並びの位置でした。前には音楽入りの催し物があり、後ろには室内展示場の出入口がありますので、お客様の流れが多く、非常に良い場所を確保できました。

大型、小型建機を世界各国の有力なメーカーが最新版を競い合って展示しており、中国では、品質が良く、メーカーとしてニューモデルでなお且つ一番売れてる商品しか市場が取れないことを物語っているように思われました。会員の皆様もこの建設機械の多種多様さに驚き興味をもたれており、また部品中心の室内展示場も関心をもって廻ってきたとの事です。

最終日の17日(水)は最速で時速432kmのリニア・モーターカーに乗り浦東国際空港へ、大変混み合っておりましたが、無事帰国の途に着くことが出来ました。

館林工場 十九浦健治記

BAUMA CHINA 2004 乾杯!の声がきこえる

限公司が出展しました。

上海は日本から近いこともあり、多くの日本人視察団が訪れ、三笠産業でも協力会社の親睦団体である笠友会が年に一度の総会を兼ねて会場を視察しました。



のお酒ならば必ず一気飲みをしなければならない。白酎というお酒は様々な種類があるが、どれもアルコール度数が高く、香りもかなりきつい。小職が飲んだことのある白酎は香りが無い方だと言われたが、それでもかなりきつい匂いだった。

白酎用のグラスはお猪口よりも小さい。小さいという事は即ち一気飲みをするためのグラスに小職には思える。一気飲みはお互いにビールを飲んでいたとしても相手が一気飲みをしていたり、周りの雰囲気からせざるを得ない空気を感じたら取り合えず一気飲みを

幸和機械(株)営業所と 管理機材センターが落成



幸和機械株式会社様(本社 秋田県能代市浅内字横道19-1 福田幸夫社長)におかれましては、峰浜営業所を新築移転するとともに保安機材管理センターを併設され、平成16年10月6日(水)に落成記念式典を行なわれました。

新営業所は6千坪の広大な敷地に、営業所棟と二つの大きな管理棟及び巨大な門型クレーンを擁し、目を見張るスケールの大きさです。機材管理に従事される社員の皆様の作業環境を充分に考慮された管理棟内は機材が整然と収納され、鋼板、単管パイプ、クランプ等の修正、清掃を行なう最新の機械システムが配備されています。幸和機械(株)様では12月には本社社屋も改築され、同時にコンピューターシステムも向上されました。常に改革、改善を断行し、発展される幸和機械(株)様はお取引ユーザー様にとっても我々メーカー及び商社にとりましても力強いパートナーである事を再確認させて頂きました。厳しい社会情勢の下、弊社と致しましては今後益々のご協力をお願い申し上げる次第です。

福田社長はじめ社員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
新峰浜営業所
秋田県山本郡峰浜村目名字萩台5-26

電話 0185-76-2823
仙台営業所 菅原記

東北建設機械販売(株) 十和田営業所移転オープン

新キャタピラー三菱(株)特約店であり、三笠製品の拡販にも多大なるご協力を頂いております東北建設機械販売(株)様では、この度、十和田営業所を下記に移転され、同社のレンタル部門を受け持つ、東北レンタルサービス(株)十和田営業所を同地に新たに開設されました。

新店舗は、八戸市から国道4号線を経由して青森市へ向かう主要幹線である国道45号線沿いという抜群の立地条件で、これまでより格段に広い敷地には門型クレーンを設置、機械の搬入出、清掃なども容易に行える設備も整えられ、今後の販売及びレンタルの両面での活躍が期待される環境です。

去る10月14日から16日の3日間、移転並びに新設記念展示会が開催され、弊社も参加させて頂きました。初日は開会に先立って、オープニングセレモニーが開催され、二戸市(二戸営業所)、五所川原市(つがる営業所)に次ぐ東北地区3店舗目となる東北レンタルサービス(株)十和田営業所のお披露目が行われました。角沢所長以下、平均年齢30代の若いスタッフから気合の入ったご挨拶があり、いよいよスタートという心地よい緊張感を感じつつ、展示会は華やかにその幕が切って落とされました。

販売用展示品はもとより、多数ご採用頂いた三笠製品も含めたレンタル機も数多く並べられ、ご来場されたユーザー様へのPR効果は絶大だったと思います。あっという間に過ぎた3日間でしたが、多くの方々のご来場を頂



東北建設機械販売(株)



東北レンタルサービス(株)

いた華やかな中、新たな出発への期待が膨らむ素晴らしいプロローグとなつたと感じています。

東北建設機械販売(株)十和田営業所
新住所 青森県十和田市大字三本木字野崎40-435

TEL 0176-23-6278

FAX 0176-23-6299

東北レンタルサービス(株)十和田営業所
住所 同上

TEL 0176-20-1350

FAX 0176-22-0071

青森出張所 越後記

北関東トクトクフェア 館林工場の見学会も



北関東営業所では10月15(金)、16(土)の2日間、2年ぶりのトクトクフ

エアを、東京三笠会のご協賛を頂いて三笠産業館林工場敷地内に於いて開催致しました。

数日前まで台風の影響による悪天候が続き、当日の天候が心配されました。2日間とも秋晴れの穏やかな気候となり地元群馬、栃木をはじめ、東京や埼玉からも沢山のお客様のご来場を賜りました。

会場内では、既にご好評を頂いておりますMT-55ランマーや高周波バイブレーターを試運転し、他社に無い三笠の高品質をご理解頂きました。また新たな市場を開拓すべく発案した新製品MS-60フロアスクレーパーの実演PRを行い、お客様の多くの注目と関心を集めました。

2日目は、展示会のかたわら、富士重工業(株)様の技術の方に講師をお願いして、EH型エンジンの講習会を行いました。構造や分解組み立ての説明に対し、エンジンの整備や点検に関するを中心とした質疑応答がなされました。

また、今回のトクトクフェアの特別企画として館林工場の協力を頂き、工場内の見学会が行われました。日頃三笠製品を取り扱っているお客様も、実際に製造過程を目にすることで改めて技術レベルの高さとハイクオリティーな製品を実感していただけたと思います。

今回の展示会に沢山の御支援と御来場頂いたお客様に感謝を申し上げるとともに、2日間いろいろと御協力いただいた関係各所の方々にお礼申し上げる次第でございます。

これからも皆様方に喜んで頂ける様、所員一同努力してまいりますので、より一層のご愛顧とご協力をお願い申し上げます。

北関東営業所 鍾農記

2004年三笠親和会 ソウル～慶州～釜山の旅

平成16年度の三笠親和会社員旅行は、前後2班に別れての韓国旅行となりました。出発の朝、成田空港への集合は遅刻者1名という三笠親和会としてはなかなか立派(?)な出足。なんてたって、海外旅行といえば成田までの行程が一番大変ですからねえ。ソウル・仁川空港へランディングした三笠軍団、さあ旅の始まりです。

まずは空港からバスに乗り車窓からソウル市内観光。ガイドさんの話を聞きながら、名所・旧跡を眺めつつ、ソウル中心部へとバスは進み、今夜の宿泊先、ロッテ・ホテルへ到着。我々を出迎えてくれたのは今をときめくヨン様!のポスター。さすが人気者、いたるところに飾られていました。しかし、同じ人間じゃないか、なんだってこうも違うかなあ、悔しいなあ、こうなりや飯食ってやる!という訳(?)で全員で高麗亭という韓定食のお店



仏国寺にて

へ。ここで嬉しいハプニング、三笠韓国代理店、大電社様の丁重なお迎えを頂き、一同大感激、感激のあまり味のほうはよく覚えていませんが、長旅の疲れを癒す楽しいひと時となりました。

明けて二日目、ソウル駅からKTXに乗り、慶州へ向け出発。KTXは例えれば山形新幹線車両と似た感じで、乗り心地はますます。約2時間で東大邱駅へ到着。ここからバスに乗り換え途中昼食を挟んでの慶州観光。仏国寺では文化の日本への伝来を感じ、古墳公園では、身近な国だとう実感を新たにしました。観光後は釜山、マリオットホテルへチェックイン。二日目の夜は各自自由行動、社会人

として良識ある範囲内でそれぞれが楽しんだようです。その後一人も欠けることなく皆まじめに働いてますから、カジノでボロ儲けした人は、いなかつたんだろうなあ、残念!

楽しかった旅行も最終日となり、帰国の途につくこととなりました。成田空港は冷たい雨がお出迎え。おつかれさまでした!

青森出張所 越後記

三笠クイズ VOL.56

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、冬にちなんだことが浮かんできます。さて何でしょう。

I	A		イ	
A	B		D	
4	ウ	5		
工			オ	3
				E
		C		
カ			2	

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-3

●締切り 2005年2月21日(月)消印有効

VOL.55の答えは「クリゴハン」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。
美村いづみ様(鈴鹿市) 須賀千代様(郡山市) 篠崎和弘様(太田市) 下條信子様(長岡市) 下村和彦様(所沢市) 太田あけみ様(安曇野市) 根塚雪康様(大村市) 林村源生様(むつ市) 蔵野博行様(芦別市) 広瀬えみこ様(世田谷区)

ヒント

ヨコのかぎ

ア、正誤な角がありますがトナカイではありません。奈良公園ではこの動物がたくさん放し飼いにされています。

イ、二つそろって一緒にとなるもの。一〇〇。

ウ、えり好みして、顔立ちの美しい人を好むこと。

エ、冬は火事の多い季節です。可燃物のあるところでは〇〇燃禁。

オ、宣伝広告のために人に配ったり、張り出したりする紙片。〇〇をまく。

カ、精神や肉体の緊張をほぐすこと。〇〇〇〇〇して試験に臨む。

タテのかぎ

ア、正月などに、門や神棚に注連縄を張って飾ること。七五三飾りとも書きます。

イ、つめたい空氣。この冬一番の〇〇〇〇が押し寄せる。

シ、〇〇実剛健とは、筋力がなくまじめでたくましく、しっかりしていること。

ド、あとをつけて行くこと。ミサイルが敵機を〇〇〇する。

エ、お茶碗によそったがお皿で、お皿によそったのは〇〇〇?

三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集室